

上和田有機米生産組合だより



8月号



エスコープ大阪さんと組合員のみなさんでさなぶ

生産地と消費地をつなぎ「いのちを育む食」を実体験できる交流会として生活協同組合エスコープ大阪さんの組合員4名とお子さん3名が2泊3日でご参加下さいました。田んぼの巡回や実際に田んぼに入って草取りをお手伝い。そば打ち体験や蛍観賞や組合員と交流して頂きました。みなさん高畠を満喫し、この繋がりを大切にしたいとのとこでした。ありがとうございました。

7月22日田んぼの生き物調査を行いました。去年は組合員だけで行いましたが、今年は和田地区に農業宿泊体験で東京の墨田区から小学生が来ていたので一緒に参加してもらいました。都会では見ることができない昆虫やいろんな鳥の鳴き声を聞きました。大人も子供も夢中になり観察をしました。短い時間で70種類の生き物を確認することができました。外来種はアメリカザリガニぐらいでした。調査した田んぼは40年前から無農薬米を栽培していて、大変いい土で水も空気もきれいで、上和田はとてもいい自然環境とお褒めの言葉をいただきました。これからも安全で安心して食べて頂くお米づくりができてよかったです。これからもずっとこの環境を守りたいと思います。



はじめに田んぼや水路から生き物を採取します。



藻や葉を取り除きます。



図鑑を見たり先生に聞いて名前を調べます。

昨年からは組合員なられた伊澤良治さんの息子さんの良郎さんです。良治さんは高畠町内の小学校校長先生で定年退職と同時に組合に加入されました。小学校で児童と野菜や米を作り、自給自足の大切さを教えて下さって、何年も前から食育を実践なさっていました。今は親子で一緒に米づくりにがんばっています。



伊澤良郎さんから一言
今は農業の勉強中です。来年に就農予定です。技術はまだですが、周りの先生方からご指導の下がんばっていきたいです。